

熊本大学男女共同参画推進基本計画に係る具体の取組について

部局等名(生命科学研究部(医学系))

目標1:男女共同参画社会の実現に貢献する教育内容を充実させ、男女がともに学び合うことを可能とする就学環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・医学科での特別臨床実習においてグループ分けを行う際、特別に偏りがないう配慮している。・全学年、男女とも個人毎にロッカーを割り当ており、女子更衣室についても確保している。
目標2:男女がともに個性と創造性のある研究を推進するための研究環境を整備する。
<ul style="list-style-type: none">・医学教育部において、柴三郎プログラムに女性柴三郎コースを設定し、保育園への優先的入園、病児保育などの子育て支援や、出産・育児休学中もeラーニングで勉学の継続、メンターによる研究指導などを行う支援制度を設けている。・女性教員、女子学生による、ランチ会が4回開催されており、意見交換の場となっている。
目標3:男女共同参画社会実現の原動力となる人材を育成し、地域及び国際社会への貢献活動を推進する。
目標4:次世代育成支援と女性の活躍推進を可能とする職場環境を醸成する。
<ul style="list-style-type: none">・生命科学研究部では、卓越研究院事業およびテニユアトラック事業により本学大学院先導機構に雇用し3～5年後の審査を経て、本研究部で雇用するシステムを構築しており、現在、女性テニユア准教授1名、ならびに女性テニユアトラック助教1名を本システムで雇用しているところである。・女性職員用にロッカーを配備し、更衣室として利用できるスペースを確保している。
その他:目標1から目標4までのほか、男女共同参画推進に取り組んでいること。
<ul style="list-style-type: none">・教員公募を行う際には必ず「熊本大学は、男女共同参画を推進しています。(詳細はホームページをご覧ください。http://gender.kumamoto-u.ac.jp/) また、選考にあたっては、男女共同参画社会基本法に則り、適性に行います。」を記載している。